

# 人類学演習Ⅲ 談話会

日時： 4月 24日(金) 16:30~18:00

場所： 理学部 2号館 402号室

## 〈講演者〉

近藤 修 先生

(東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻人類学教室)

## 〈講演テーマ〉

1. アムッド3号, 4号内耳骨迷路の観察
2. 研究室案内

## 〈内容〉

1. アムッド洞窟はイスラエル北部に位置する西アジアの代表的な旧石器化石人類遺跡であり、1960年代には日本調査隊が、1990年代にはイスラエル調査隊が発掘しそれぞれネアンデルタール成人・幼児骨を記載している。

今回我々は、東京大学博物館に保管されているアムッド3号、4号側頭骨断片資料の内部構造をマイクロCTにより観察した。

アムッド3号は堆積層準のUnitB2より(約6万年前)、アムッド4号はより下層のUnit B4(約7万年前 or 11万年前)より出土している。両標本をマイクロCT撮影後、骨迷路形態を3次元構築し、予備的観察を行った。

どちらの標本もネアンデルタール的な特徴—すなわち三半規管のうち、後半規管の位置が相対的に低い—を示した。

このことはアムッド3号、4号ともにネアンデルタールである可能性を示唆する。

### 2. 研究室案内

今後の予定

5/01 井原研

5/08 植田研

担当 井原研：小森